

提出第 5 号

株式会社テンキテンキ村の経営状況を説明する書類の提出について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定により、株式会社テンキテンキ村の経営状況を説明する書類を別紙のとおり提出する。

令和 5 年 9 月 1 日提出

京丹後市長 中山 泰

決算報告書

第 31 期

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

株式会社 テンキテンキ村

京都府京丹後市丹後町竹野 3 1 3 番地の 1

議案 第 31 期営業報告の件（案）
（2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで）

1 現況

(1) 事業の経過及びその成果

当期における我が国経済は、コロナ感染症の影響も和らいで経済活動の正常化が進み、穏やかな持ち直しが続きました。

当業界におきましては、行動制限が解除されて以降、旅行支援策などにも支えられて回復傾向にあります。

また、前期末に完成した府道浜丹後線宮バイパス並びに道の駅駐車場改修が、当社施設運営に好ましい状況をもたらしました。

このような環境の中で、今期をコロナ後再活性化基盤整備初年度と位置付け、コロナ前の令和元年度利用者数の 90% を目標にスタートし、次のような事業を行いました。道の駅壁面ガラスの塩分除去並びに朱柱の塗り替え及び館内蛍光管の取替など、利用者にスッキリ明るい印象を与える「施設の美観を整える」取り組み。丹後和牛 1000 年以上の伝統を受け継ぐ、丹後町の畜産業者が育成した肉をステーキハウスで提供した「特色ある商品」づくりへの取組。オートキャンプ場では、丹後温泉入浴料 10% 割引。地元魚屋による場内での行商。市指定管理三施設（スイス村・宇川温泉・ステーキハウス）共同で E バイクのレンタル事業の構築、など「他の施設・企業・地域」との取り組み。また、主たる従業員を対象に毎月 1 回、コンサルタントの指導の下で再活性化会議を開催し、思考力・提案力・実行力を磨きました。役員においては、正副社長会を毎月 1 回、定例取締役会を四半期に 1 回開催して、経営判断に必要な情報の共有と意思の疎通を諮り、「運営能力の向上」に務めました。

この結果、当期の業績は、利用者数令和元年度比 94% と目標を達成することができ、売上収入 132,588 千円（前期比 150%）、当期利益は 369 千円（前期比 5%）となりました。

事業別	売上高	施設利用者数
道の駅運営事業	102,304千円	105,773名
碓高原ステーキハウス運営事業	22,048千円	5,595名
キャンプ場運営事業	8,236千円	8,644名

(2) 設備投資等の状況

当該年度において実施した設備投資等は、次の通りであります。なお、資金については自己資金を充当しました。

- ・本社 タイムレコーダー更新、パソコン更新。
- ・道の駅 冷凍ストッカー更新、店内照明具更新、換気扇更新、屋根修繕、雨樋修繕、建物朱柱塗装、ガス管修繕、外壁ガラス塩分除去。
- ・碓高原ステーキハウス ガスブースター更新、湯沸し器更新、入口の床修繕
高所ガラス清掃、E バイク購入。
- ・オートキャンプ場 傾斜地草刈り機購入、炊飯棟照明具更新。

(3) 対処すべき課題

内外の諸情勢からみて、今後とも厳しい企業環境が予想される中で、「立寄り
たい施設」をつくるためには、次のような課題が有ります。

施設の美観を整える

道の駅トイレ改修工事が（京丹後市令和5年度事業として）予算化され、一番大
きな課題が解消される見込みですが、各施設ともに約30年経過しており経年劣化
が至る処で顕在化しているため、こまめな点検と手入れ。

特色ある商品の提供

「ここでしか」食べれない・買えない・できない体験の具現化。

他の施設・企業・地域との連携

行政とも連携して、当該地域への誘客促進。

運営能力の向上

企画力及び情報発信力の能力向上。併せて円滑な世代交代。

その他

繁忙時に、道の駅駐車場が円滑に利用できる対策。

(4) 財産及び損益の状況の推移

区分	第28期 令和元年度	第29期 令和2年度	第30期 令和3年度	第31期 (当期)
利用者数	127,516名	93,729名	80,329名	120,012名
売上高	110,444千円	85,932千円	88,428千円	132,588千円
当期純利益	△1,360千円	232千円	7,569千円	369千円
1株当たり当期純利益	△2,834円	485円	15,769円	769円
純資産	13,405千円	13,638千円	21,207千円	21,577千円

(5) 主要な事業内容

事業	主要商品
道の駅運営管理事業	土産物（菓子・加工食品・加工製品） 食事（定食・丼・うどん・そば） 喫茶（コーヒー・ソフトクリーム）
碓高原ステーキハウス運営管理事業	ステーキ
オートキャンプ場運営管理事業	キャンプ区画

(6) 従業員の状況

従業員数	前期末比増減数
18名 (うち男性4名、女性14名) (うち社員6名、パート9名、季節3名)	2名増 (女性2名：欠員補充1、増員1) (社員2名：欠員補充1、転換1)

2. 会社の株式に関する事項

(1) 発行済株式の総数 480株

(2) 株主数 11 団体

株主名	持株数	持株比率
京丹後市	432株	90.0%
京丹後市商工会	10株	2.1%
京都農業協同組合	10株	2.1%
京都府漁業協同組合	8株	1.7%
丹後地区森林組合	8株	1.7%
(一社) 京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部丹後町支部	6株	1.3%
間人商店連盟	2株	0.4%
間人区	1株	0.2%
竹野連合区	1株	0.2%
上宇川連合区	1株	0.2%
下宇川連合区	1株	0.2%

3、会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役の氏名等

氏名	地位及び担当	重要な兼職の状況
中江 英雄	取締役社長 (代表取締役)	
蒲田 幸造	取締役副社長 (代表取締役)	コンサルティング業経営
小倉 伸	取締役	上宇川連合区長
中江 謙介	取締役	鉄工業経営
長門 弘之	取締役	食品製造業経営
高橋 尚義	監査役	京丹後市商工観光部長
小谷 和彦	監査役	

(2) 当事業年度に係る取締役及び監査役の報酬等の額

取締役 5名 2,565 千円
 監査役 1名 45 千円

4、計算書類

(1) 貸借対照表 2023年3月31日現在

科目	金額(円)	科目	金額(円)
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	29,661,681	流動負債	10,672,913
1 現金及び預金	20,771,087	1 買掛金	4,599,810
2 売掛金	3,678,241	2 未払金	2,618,226
3 商品	2,155,260	3 未払法人税等	206,000
4 原材料	397,749	4 預り金	35,182
5 未収金	2,659,344	5 預り社会保険金	343,758
		6 預り雇用保険金	33,237
固定資産	2,588,588	7 預り住民税	46,900
有形固定資産	1,510,833	8 未払消費税	2,789,800
1 車両運搬具	1,456,400	負債合計	10,672,913
2 工具器具備品	9,457,910	(純資産の部)	
3 減価償却累計額	△9,403,477	株主資本	21,577,356
無形固定資産	1,077,755	資本金	48,000,000
1 ソフトウエア	1,002,771	利益剰余金	△26,422,644
2 電話加入権	74,984	1 利益準備金	3,000,000
		2 その他利益剰余金	△29,422,644
資産合計	32,250,269	負債純資産合計	32,250,269

(2) 損益計算書 2022年4月1日から2023年3月31日まで

科目	金額 (円)	
I 営業収益		
売上高		
1 飲食料売上高	45,667,529	
2 土産料売上高	59,908,712	
3 販売手数料売上	1,653,143	
4 自販機売上高	1,262,630	
5 使用料売上高	8,072,000	
6 その他売上高	15,936,000	
7 雑収売上高	<u>88,310</u>	132,588,324
II 営業費用		
売上原価		
1 期首商品棚卸高	1,889,079	
2 飲食料仕入高	20,623,784	
3 土産料仕入高	36,765,743	
4 その他仕入高	<u>234,400</u>	
合計	59,513,006	
4 期末商品棚卸高	<u>2,553,009</u>	<u>56,959,997</u>
売上総利益		75,628,327
販売費及び一般管理費		<u>△82,274,727</u>
営業利益		△6,646,400
III 営業外収益		
1 受取利息	280	
2 受託料	4,784,662	
3 雑収入	<u>2,444,276</u>	7,229,218
IV 営業外費用		
1 雑損失	<u>7,255</u>	<u>7,225</u>
經常利益		<u>575,563</u>
税引前当期純利益		575,563
法人税等		<u>206,036</u>
当期純利益		<u><u>369,527</u></u>

販売費及び一般管理費明細

2022年4月1日から2023年3月31日まで

科目	金額(円)	
1 役員報酬	2,610,000	
2 給与手当	16,499,953	
3 賞与	1,122,750	
4 雑給	19,491,853	
5 法定福利費	4,509,809	
6 福利厚生費	819,322	
7 広告宣伝費	488,961	
8 旅費交通費	1,703,351	
9 接待交際費	11,000	
10 車両費	78,980	
11 通信費	314,123	
12 水道光熱費	7,906,179	
13 租税公課	30,050	
14 消耗品費	3,154,864	
15 修繕費	2,191,030	
16 保険料	115,720	
17 支払手数料	4,466,909	
18 減価償却費	1,452,499	
19 リース料	883,052	
20 装備衛生費	4,282,678	
21 燃料費	184,278	
22 負担金	167,700	
23 施設管理料	4,047,178	
24 会議費	59,540	
25 販売促進費	316,742	
26 賃借料	356,535	
27 外注費	746,318	
28 雑費	115,953	
29 消費税等	4,147,400	82,274,727

(3) 株主資本等変動計算書 2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

株主資本			
資本金	当期首残高及び当期末残高		<u>48,000,000</u>
利益剰余金			
利益準備金	当期首残高及び当期末残高		<u>3,000,000</u>
その他利益剰余金			
繰越利益剰余金	当期首残高		△29,792,171
	当期変動額	当期純利益	<u>369,527</u>
	当期末残高		<u>△29,422,644</u>
利益剰余金合計	当期首残高		△26,792,171
	当期変動額		<u>369,527</u>
	当期末残高		<u>△26,422,644</u>
株主資本合計	当期首残高		21,207,829
	当期変動額		<u>369,527</u>
	当期末残高		<u>21,577,356</u>
純資産合計	期首残高		21,207,829
	当期変動額		<u>369,527</u>
	当期末残高		<u>21,577,356</u>

監査報告書

2023年5月24日

株式会社テンキテンキ村

取締役会 御中

監査役 高橋 尚 事

監査役 小谷 和彦

私たち監査役は、2022年4月1日から2023年3月31日までの第31期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めると共に、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社および主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその付属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告書の監査結果

- 一、事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二、取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書の監査結果

計算書類及びその付属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

第 32 期事業計画

株式会社テンキテンキ村

再活性化をめざす、3ヶ年計画の第2年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の基本方針と収支計画であります。

なお、本件につきましては、取締役会で決定しております。

第 32 期事業計画

1 基本方針

新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが 5 類感染症に変更されることに伴い行動規制が緩和され、旅行需要が回復するものと思われれます。

そのような状況の中、「立寄りたい施設づくり」（再活性化計画）3ヶ年計画の 2 年目の今期は、対処すべき課題を解消するため次の事業を計画します。

(1) 施設の美観を整える

- ①道の駅：土産物売り場のレイアウト及び案内表示の改良。
- ②オートキャンプ場：トイレの照明器具取替。
- ③ステーキハウス：外壁の改修工事。

(2) 特色ある商品の提供

- ①地産和牛活用（ハンバーグ及び牛丼提供）実証実験。
- ②地産素材を使用した、季節ごとの商品開発。
- ③利用者データに基づく品揃え。

(3) 他の施設・企業・地域との連携

- ①NPO 法人 TOMORROW との連携。
- ②宇川温泉・スイス村との E バイクレンタル事業の共同実施。
- ③一般社団法人京丹後龍宮プロジェクトとの連携。
- ④地産品（農産物や乾物など）の取引拡充。

(4) 運営能力の向上

- ①企画及び情報発信担当者の育成。
- ②円滑な世代交代。
- ③機械化推進（インボイス、キャッシュレス、感染防止）。
- ④専門家による、従業員能力向上研修の実施。

(5) その他

- 行政と連絡調整の上、道の駅駐車場における混雑解消の立案と実施。

上記事業を実施することにより、短期的には財源や利益を圧迫するが、再活性化の基盤整理のために必要な処置と思われます。なお、当期の目標は、利用者数を128千人（前期比107%）、売上138百万円（前期比104%）、純利益百万円（前期比265%）とします。

2 収支計画 2023年4月1日から2024年3月31日まで

単位：円

I 営業収益

売上高

1 飲食料売上高	47,500,000	
2 土産物売上高	60,600,000	
3 販売手数料売上	1,700,000	
4 自販機売上高	1,300,000	
5 使用料売上高	8,200,000	
6 その他売上高	18,500,000	
7 雑収売上高	<u>200,000</u>	138,000,000

II 営業費用

1 売上原価

1 飲食料仕入高	20,200,000	
2 土産物仕入高	<u>39,300,000</u>	<u>59,500,000</u>
売上総利益		78,500,000

2 販売費及び一般管理費

83,620,000

営業利益

△5,120,000

III 営業外収益

1 受託料	5,300,000	
2 雑収入	<u>1,000,000</u>	<u>6,300,000</u>

経常利益

1,180,000

法人税等

200,000

当期純利益

980,000

販売費及び一般管理費明細

単位：円

1 役員報酬	2,900,000	
2 給与手当	19,100,000	
3 賞与	1,700,000	
4 雑給	20,200,000	
5 法定福利費	4,700,000	
6 福利厚生費	1,000,000	
7 広告宣伝費	500,000	
8 旅費交通費	1,870,000	
9 通信費	330,000	
10 水道光熱費	7,500,000	
11 租税公課	30,000	
12 消耗品費	2,350,000	
13 修繕費	2,000,000	
14 保険料	120,000	
15 支払手数料	4,550,000	
16 減価償却費	2,100,000	
17 リース料	900,000	
18 装備衛生費	4,300,000	
19 燃料費	150,000	
20 負担金	200,000	
21 施設管理費	2,000,000	
22 会議費	100,000	
23 販売促進費	300,000	
24 賃借料	370,000	
25 外注費	500,000	
26 雑費	150,000	
27 消費税等	<u>3,700,000</u>	83,620,000